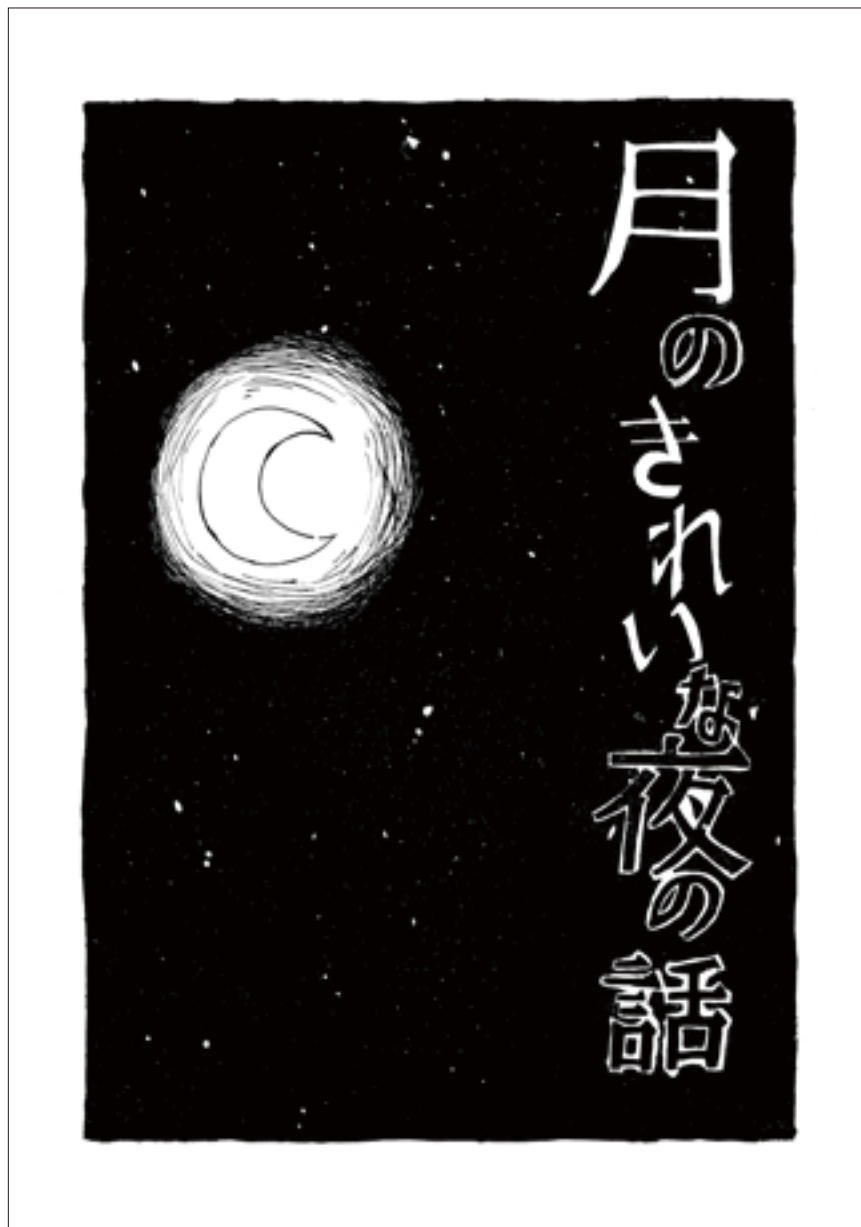


第 10 回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ最高賞／大賞

[マンガ一般部門]

「月のきれいな夜の話」 さくみ

恋してるふたりの日常を切り取ったような話を描くのが好きで、今回もそれをテーマに描きました。漫画部門で最も優れた賞をいただき、とても驚きました。自分の作品がこうに評価されることは初めてのことで、大変うれしく思います。これからも良い作品を生み出せるよう、精進していきたいと思います。

講評

大賞受賞おめでとうございます！高校生の淡い恋心を描いた作品ですが、一つ一つのキャラクターの会話が瑞々しく、大変魅力的に仕上がっていると思います。大好きなはずの彼からの告白に戸惑う主人公。「始めたら終わってしまうかもしれない。」と揺れる主人公の気持ちが、味のある情景描写(月夜の通学路)の演出と相まって、読む者の心にごく自然に入り込んで来ます。絵柄も可愛らしく素敵です。

(審査員：星野正美)



第 10 回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ COMIC リュウ賞／優秀賞

[マンガ一般部門]

「星集め」 一城ひとま

この度は、名誉ある賞を頂けることになり、大変嬉しく思います。好きなもの詰め込んで、楽しみながら描いた作品で、受賞できてとても嬉しいです。明るく救いのある話が好きなので、今後もそのような作品を描いていきたいです！ありがとうございます！

講評

短いページ数でキャラクターの個性、オリジナリティある設定を過不足なく巧みに表現しており、作者の腕の確かさを感じる。言語センスも秀逸であり、結末では情感もしっかり湛えてみせる。絵も描き慣れており、スミベタを適切に配置することでデザインセンスの優れた画面作りに成功している。実力者なのは間違いないので、今度はもっと長いページ数の作品を読みたいところだ。

(審査員：猪飼幹太)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ一般部門]

「磯のひめり」 阿野弐丸

最初は西洋を舞台にバンパイアの話を描く予定だったのですが、ふと、バンパイアのような存在って日本にいるのかな？と疑問を持ちました。そこで「磯姫」という存在を知り、作品の着想を得ました。この度、優秀賞をいただけたことを光栄に思います。自分にしか描けないものを探りながら、これからも漫画の制作に向き合っていきます。

講評

人と妖怪という異種族間において共に生きられない二人の話、個人的に凄く好きなテーマです。二人がどうなったのか終わりをはっきり描かないからこそ読者がその先を自由に想像でき、二人何処かで一緒に生きているかもしれないと期待して読む読者は多いでしょう。そんなどちらとも描かれてない先の展開を想像するための手がかりを二人が過ごす時間の中で用意しておく、限られたページ数以上に物語の幅が大きく広がると思います。

(審査員：いけ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ一般部門]

「いしをつむ」 無法者団体

問) 結局この人は積み終えて帰ることができたんですか？

1. 積めた
2. 積めない
3. 詰んだ
4. 還った
5. その他

講評

最後の一文が見事なのは言うまでもありませんが、主人公の感情の揺らぎが増幅する一つ一つのエピソードが生々しく、良い意味で重く伝わってきます。エピソードや口調から主人公の人柄や境遇を読者に想像させるのも上手いです。また、主人公が現実世界でストレスを感じる出来事は具体的に描写される一方で、この石を積む世界については多くを語らず主人公の装束などで示唆しているのが対比的で良いですね。

(審査員：末永雅弘)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ一般部門]

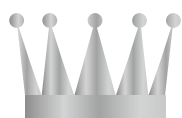
「モゾドロンきらきら 第二話」 アンドウノブユキ

ただひたすら筆が進むがままに描いた漫画です。このすこし不思議な世界を読んで頂きありがとうございます。奨励賞まで頂き本当に嬉しいです。

講評

集まった作品の中でも独特な作風で目を引いた作品。最後のページの「白川夜船」「華胥之夢」とあるように夢の話を描いたものであろうが、無声漫画で絵本のような色彩と絵柄で脈絡もなく起こる様々な展開はまさに夢のよう。わかりやすさとは無縁の作品ではあるのだが最後まで読ませる不思議な力のある作品。

(審査員：いけ)



第 10 回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[マンガ高校生部門]

「我ら忍びを目指すものなり」 ZERO

今回大賞を頂く事ができてとても光栄に思います。マンガではキャラクターデザインと忍びらしさを出す世界観作りにこだわりました。今後とも結果に甘んじる事無く精進していきたいと思います。

講評

忍び見習いのキャラクター 3人が冒頭からしっかり描き分けられている点が良い。キャラクターを読者に受け容れさせることで、シチュエーションがスムーズに頭に入り、すんなり作品世界に入り込むことができた。1ページ目の扉と最終ページの3人の作画をクオリティ高く仕上げたことも作品全体の印象を良くしている。高校生ながら「読み手のツボを心得ている」という評価ができるだろう。今後はより全体のクオリティ、完成度を上げるべく精進してほしい。

(審査員：猪飼幹太)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ高校生部門]

「侵略者」 落合ななみ

去年入賞できなかった悔しさをバネに1年かけて作品を練り上げてきました。優秀賞という素晴らしい賞をいただけて嬉しく思います。夏は楽しいことがいっぱいだと思います。けれどもその裏には、自分の進路について考え始めないといけない不安だったり、最終日まで溜め込んだ夏休みの宿題が終わらない苦しさだったり、ふとした時に感じる暑さとセミの鳴き声の鬱陶しさだったり、そんな重々しい夏の雰囲気が好きです。楽しさと苦しさの夏の混沌さに言語が通じているのに話が通じない恐怖がある宇宙人を登場させたらおもしろそうだなと思って作り上げたのがこの作品です。明るめの話ではありますが、そういった夏の繊細さを感じながら読んでもらえると思います。

講評

地球を侵略しに来た宇宙人と過ごす夏休み!! 侵略者なのに可愛く色々ずれてて楽しい子、皆こんな宇宙人だったら気軽に侵略しに来てほしい。正体や主人公の家族の記憶操作など、いともたやすく行われるえげつない行為もコミカルな描かれ方で終始楽しく読むことができる。ただ二人で過ごした夏休みを思い出形式でサラッと流している点が惜しい。UFOの上から見た花火は絵的にも映えるだろうし是非絵としてみてみたかった。

(審査員：いけ)



居眠り コンバット

第 10 回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ高校生部門]

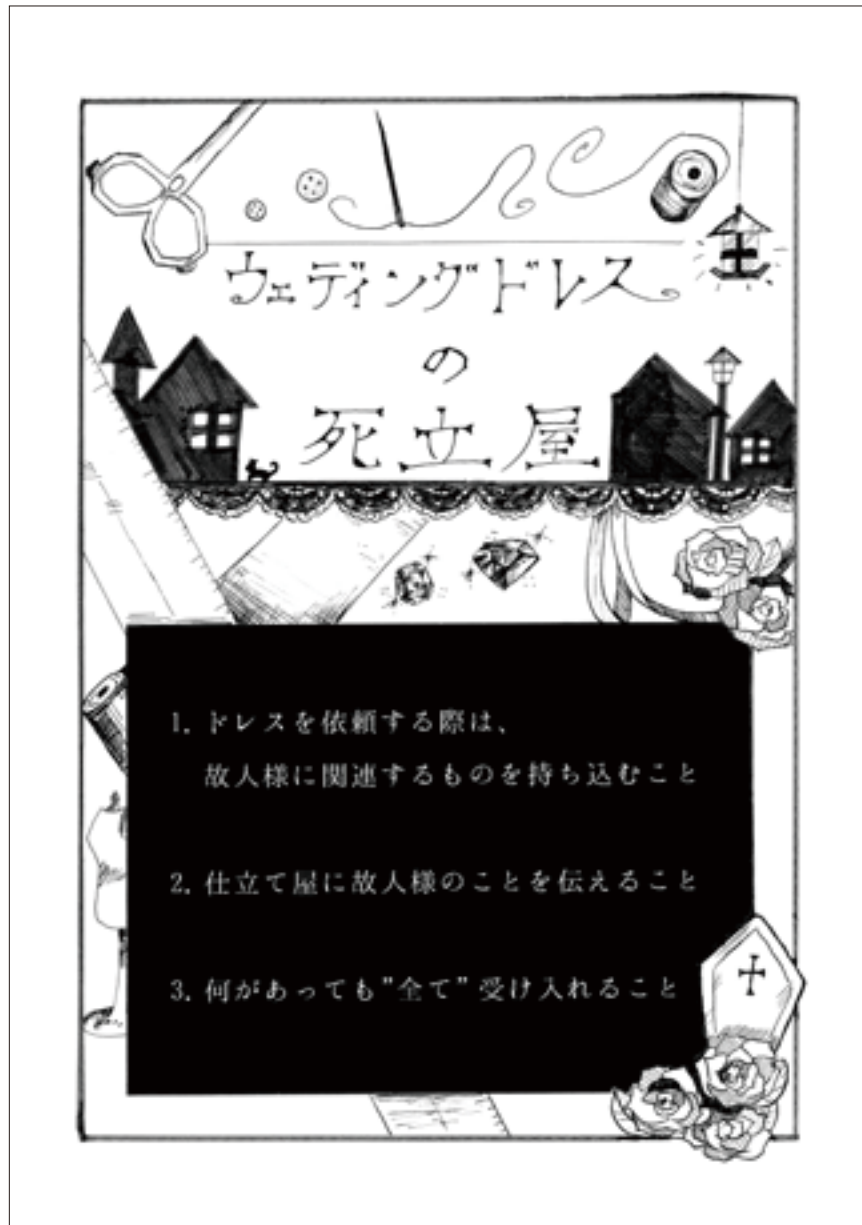
「居眠りコンバット」 林慶佑

今までで一番多い量のトーンを使ってみました。思った以上に時間がかかり悔いが残ってしまった部分はありません。一番お気に入りなのが、ツムギちゃん以外授業道具を用意していないところです。ツムギちゃん以外はただ起きるのを頑張っているだけです。表情などを真面目に描きギャグ漫画感をあえて消してみたのもポイントです。

講評

優秀賞受賞おめでとうございます！最初から最後まで楽しく読ませて頂きました。やや既成作家さんの影響を強く受けた絵柄ではありますが、内容的には現役高校生らしい視点で描かれたオリジナリティとエンターテインメント性に溢れた作品に仕上がっていると思います。オチも良かったです。欲を言えばもっと教師と主人公達の具体的な攻防が見たかったです。これからのご活躍に期待します。

(審査員：星野正美)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ高校生部門]

「ウェディングドレスの死立屋」 なぐも

誰かの死が誰かの一番幸せな瞬間の一片となってほしいという思いで描きました。ウェディングドレスのデザインに力を込めたので、ぜひご覧ください。

講評

死者の想いを込めて作られたウェディングドレスは祝福を与えまた呪詛にもなる。二人の依頼者が持ち込んだ死者の想いでそれぞれ迎える展開が淡々と描かれているのが、温度差のある話になっていて面白い。ただ漫画にしては説明的な解説を多く入れてしまっているので、漫画と言うよりも読み物という印象を受ける。説明部分を絵や台詞で表現できるようになるとより漫画らしい作品になると思います。

(審査員：いけ)



第10回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ高校生部門]

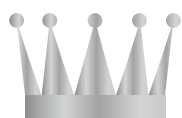
「夏色の雲隠」 常盤

奨励賞ありがとうございます。彼女たちは最後まで1つの世界を見る選択をしました。2人の世界を上手く伝えられたら嬉しいです。

講評

見えるものが増えれば世界は広がるはずが、目の前の「君」だけが世界の全てである主人公の独白、そして自らの死を覚悟している少女のセリフ、それら一つ一つに心惹かれる漫画でした。「2人で一つの世界をみるの」「君の瞳(いろ)を貰った」と1P目から物語の世界観全開で、読者を物語に引きずり込んでいます。風船のモチーフや比喩的な表現なども効果的で、短いながら非常に印象に残る作品でした。

(審査員：末永雅弘)



第10回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[マンガ中学生部門]

「エンドレスゲーム」 ゆゆゆめる

この度は、大賞に選んでいただき有難うございます。本当に驚いています。この作品は“当たり前信じているものは目の前の事実とは違っている”というテーマをダークな世界観で描いたものです。実は漫画を描くのは、この作品が初めてで、描くにつて、こんなにも難しいものなのだと知りました。しかし、仕上がった時の達成感は何にも代えがたいものでした。そしてこれからも色々な作品を描いてみたいと思っています。今回、この作品が完成したのも、賞をいただけたのも沢山の人の支えがあったからです。みなさんに感謝してもしきれません。本当に有難うございました。

講評

人間界に害をなす「シャドー」という存在はシャドーを狩る者達がシャドーに殺された成れの果て。そしてそれを「終わりのないゲーム」という悪意あるタイトルがセンスが良い。シャドーを殺すことに疑問を抱き心を痛める子がシャドーにされ、実の姉妹と戦わなければならない残酷な展開はとても強く印象に残る。駆け足気味で説明的な漫画にはなっているが読み切り物として何かを残す作品になっている。

(審査員：いけ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ中学生部門]

「光青」 三木歩

ただ1つの答えが隠されている「マンガ」ではなく、様々な方向性から、それぞれ異なる答えが隠されている「萬画」を目指して描きました。人によって、捉え方はそれぞれ。似たような答えもあれば、まったく別の答えもでてくる。そうやって、色んな人と共感、交わすことでより新たな(多様性)道ができてゆくと思います。

講評

とても「力強い」漫画というのが第一印象でした。それはこの漫画の「線」が持つ力でしょう。髪の毛・影・背景などもトーンや塗りを多用せず線で緻密に表現していて、圧倒されました。その絵の力強さと「死」という直球の題材が合致しており、作品全体の雰囲気を作り上げています。話の筋はシンプルながらも、自死を選び、どこか感情が希薄に見えた彼女の感情が溢れるシーンの見せ方がお見事でした。

(審査員：末永雅弘)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ中学生部門]

「研究所 春夏秋冬中!!」 わがし

この度は、優秀賞を頂き、ありがとうございます。これを支えに精進します。本作はとんでもない研究所の奇妙な話ですが、楽しんで頂けたら幸いです。

講評

優秀賞受賞おめでとうございます！とても楽しい作品でした。初めの爆発シーンなど難しい場面描写もごまかさずに頑張って表現しようとしている姿勢が素晴らしいと思います。登場人物が多いですが、1人1人ちゃんとキャラが立っていて作者の愛を感じました。お話のテンポも良く、所々に挟み込んだギャグも面白かったです。創作を重ねていけば確実に伸びる人だと思います。

(審査員：星野正美)

自信ありすぎな奴
と
その幼なじみ
のお話



第 10 回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ中学生部門]

「自信ありすぎな奴とその幼なじみのお話」 小端睦

やってみよう、という思いで描いてみたマンガで、受賞するとは思いませんでしたが、このような賞をもらうことができ、うれしいです。

講評

個性的な渚くんと彼を冷静かつ温かく見守る香くん…という親友同士の関係性が実に良い。人間関係から生まれる微妙なニュアンスの面白さ、尊さのようなものを作者は中学生ながらよく捉えている。絵はまだまだ描き慣れていないが、けっして楽な構図に逃げることなく描きたい構図に果敢にチャレンジしており、その姿勢にも好感がもてる。自分が良いと思ったものをこれからも大胆に漫画として表現してほしい。

(審査員：猪飼幹太)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[マンガ中学生部門]

「マルが来た！」 虎田花丸

本作品「マルが来た！」で奨励賞をいただきました。虎田花丸です。あまりこういう賞を入手することがないので、今とても跳ね上がりたい気分です。「マルが来た！」は、2匹の猫を飼う「私」の家族に、新入りの子猫「マル」が加わった新しい日常を描いた物語(ノンフィクション)です。暴れん坊の「マル」に手を焼く「私」と先輩猫の日々を表現しました。

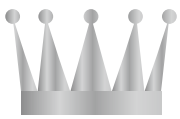
講評

奨励賞受賞おめでとうございます！新入り猫・マルの観察漫画ですが、場面場面の細かな描写が丁寧で大変好感が持てました。ケージから解放された時のワクワクした表情やお風呂に入れられた時のパニックの表情など、表現が難しい動物の表情も生き生きと描かれていて作者の優れた画力を感じました。一点だけ…絵が鉛筆書きでネームがペン書きなのは逆なので注意しましょう。これからも愛に溢れた作品を描いていって下さい。

(審査員：星野正美)

サラニャンと私

リナリズシ



第10回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[マンガ小学生部門]

「サラニャンと私」 リナリズシ

ビミョーにムカツくねこをイメージしてかきました。

講評

小学生の作品とは思えないほどコマ割りがしっかりしていて、かつテンポも良く非常に読みやすかったです。「出会い」「かな子とサラニャンの交流」「別れ」まで綺麗にまとまっていて、構成のクオリティも高いです。また、サラニャンも安心感のある見た目で可愛らしいですね。シンプルで可愛いキャラ作りは意外と難しいのでこもGood！ギャグも小気味よく、楽しみながらほっこりできる非常にバランスの良い作品でした。

(審査員：末永雅弘)

ミヨさん

と

ネコ

画・作：松本 めめか

第 10 回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[マンガ小学生部門]

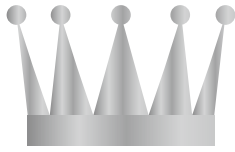
「ミヨさんとネコ」 ミリー

今、コロナ禍で世界全体がガマンの生活をおくっています。学校では今だに黙食徹底。マスクでお友達の素顔も分かりません。いつかミヨさんみたいなほほんとした生活がもどってくることを願っています。

講評

シンプルな絵と構成で仕上げられているが、ミヨさんと拾った猫ミーのそれぞれの性格、そしてふたりの生活のディティールがしっかり表現されていて、読み進めるほどに引き込まれた。空想のキャラクターたちの暮らしを具体的に細かく想像できるのはそれだけで才能だ。デザインセンスも感じる。こうした形式の漫画があっても良いという納得感がある。あとは描き慣れて完成度を上げていけばもっと良いだろう。

(審査員：猪飼幹太)



第10回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[4コマまんが部門]

「子供」

ノブクン

受賞の通知に、本当に驚きました。大変光栄で、嬉しく思っております。

講評

写真を簡単に撮れる便利さが、左側の男性には煩わしさに繋がっているという点が端的かつ風刺的に描かれています。返事が次第に適當になるのも笑えるポイントですね。ただ、右側の男性が「スマホでも綺麗に撮れてるでしょう？」など利便性を感じているセリフがあると、二人の温度差がより強調できそうなのが唯一惜しく感じました。それでも、年齢・性別が異なる審査員の中で広く共感を集めた、万人におすすめしたい作品です。

(審査員：末永雅弘)



第10回
GUNMAマンガ・アニメフェスタ優秀賞

[4コマまんが部門]

「ことわざ」

古林香一

「馬顔に念仏」と頭に思い浮かんだ時に「馬の耳に念仏」と音の響きが似ていて面白いなーと思いました。学生のころから学習マンガが好きで、いつか描いてみたいと思っていたので、今回学習マンガみたいなの4コマまんがが描けて楽しかったです。

講評

優秀賞受賞おめでとうございます！
最近の4コマ漫画は進化していて従来の「起・承・転・結」の形を取らない作品が増えていきますね。こちらの作品も正にそうで、話がドンドン思いがけない方向へ転がって行きオチもありますが不思議と面白い…という新しいスタイルです。絵が可愛らしく見やすくて過不足なく情報が入っている所にも作者の力量を感じました。これからも新たな面白さを追求して頂きたいです。

(審査員：星野正美)



第10回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[4コマまんが部門]

「森のくまさん」

櫻井花香

この作品はこういう展開になったら面白いなと考えて作りました。このような賞をいただける結果となりとても喜ばしく思います。今後も作品制作がんばります。

講評

「線」の綺麗さが目を引いた。線だけで読み手に快感を与えられるのは漫画家にとって強力な武器になる。これも才能と言えるだろう。その線にふさわしいキュートな作風の4コマ。可愛くて分かりやすくアイデアがありオチが決まっている。この路線で4コマを極めていくのももちろん良いし、通常のコマ割りをした漫画も描くのであれば、それも読んでみたいと思わせるくらい絵に魅力があった。

(審査員：猪飼幹太)



第10回 GUNMAマンガ・アニメフェスタ奨励賞

[4コマまんが部門]

「戦国コンビニ」

ちいつからたし

天下統一の機会をうかがい、あきれれる程じっくり待つつかんだ待つ事の天才徳川家康もコンビニの客として並んでいた「お待ちのお客様、こちらへどうぞ」の甘い誘いに、次の番でもないのにひょこひょこ行ってしまう…そんな姿を想像してニヤニヤしていたら「お客様？どうぞ！」と、けげんそうな顔のレジ係さんが私を呼んだ。赤面しながらカゴを渡す私。

講評

コンビニのガラス窓をビードロの壁と感心する信長の反応に感心しました。戦国時代の三英傑が現代に訪れるこのシチュエーションは無限に話が作り続けられそうですね！「鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス」な家康はこの面々の中ではどうしても三番手になるのはお約束。2023年の大河ドラマが家康主役という点も2023年のGUNMAマンガ・アニメフェスタでポイント高いです。

(審査員：いけ)

戦国コンビニ



むすこよ、ごめん

第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[4 コマまんが部門]

「むすこよ、ごめん」

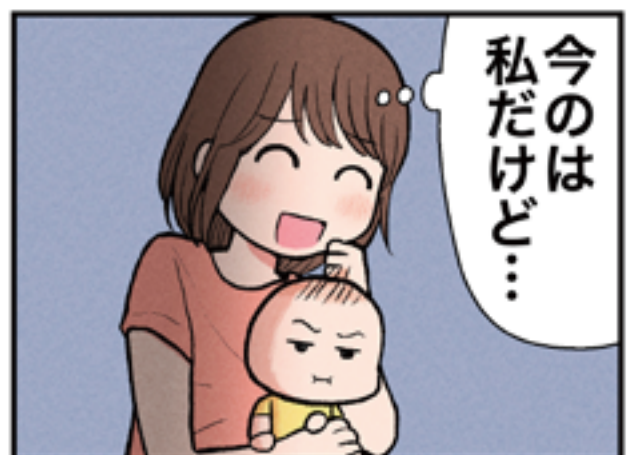
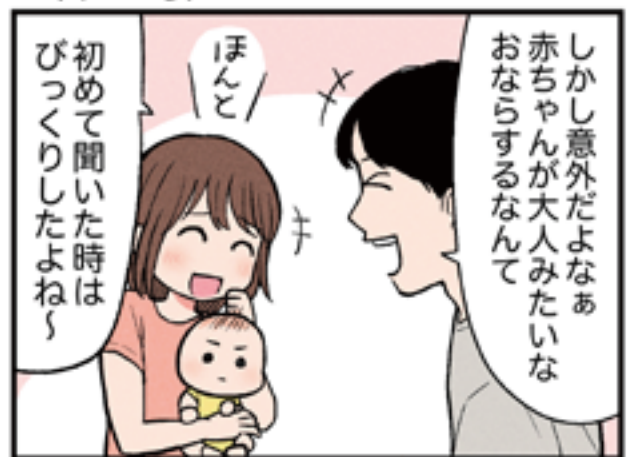
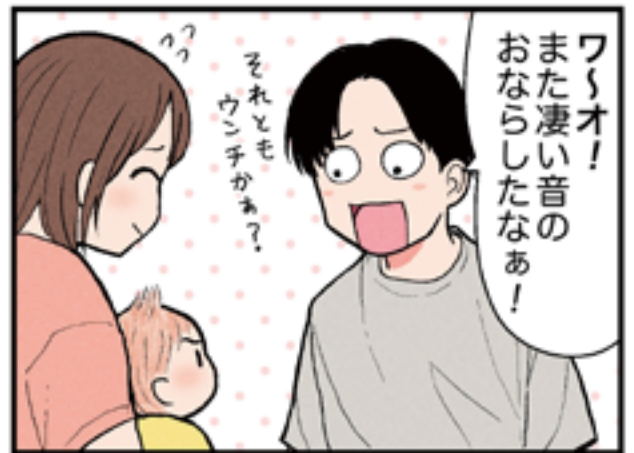
すがた

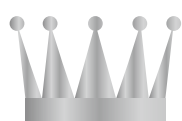
ipad で描きました！

講評

息子がまだ喋れないことを良い事に事実を捻じ曲げている大人のずるさが共感と笑いを誘います。しかも、可愛らしい絵柄と「おなら」という題材が良い意味でギャップを生んでいますね。ややオチが想像できてしまうのが惜しいですが、それでも4コマ目の息子の怒り顔など最後までクスッとできるポイントが用意されていて、絵も話もレベルの高い4コマでした。

(審査員：末永雅弘)





第10回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

【アニメーション部門】

「ひとつのお弁当」 かめりここ

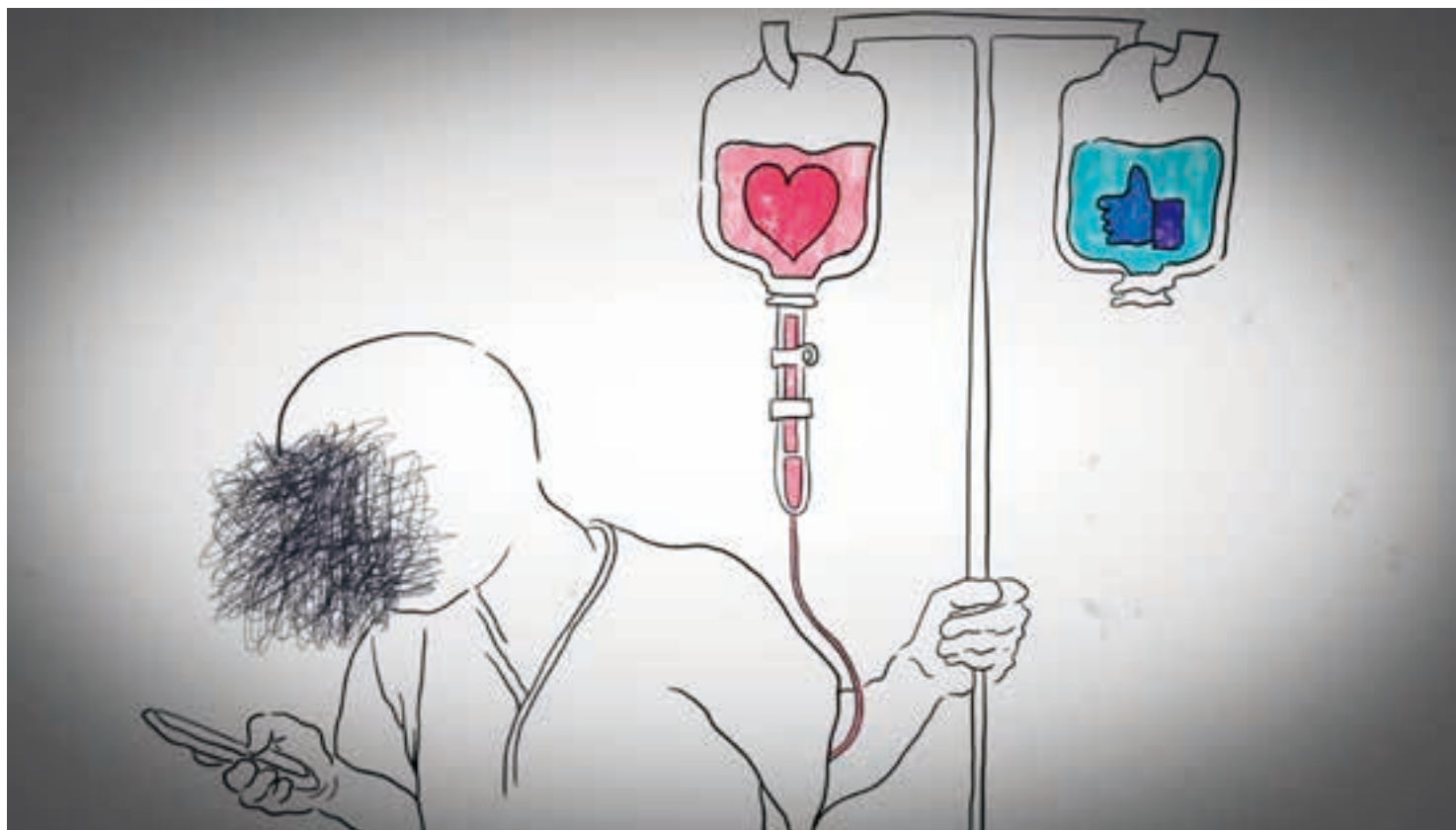
手描き、デジタル処理(1分17秒)

この度は、アニメーション部門大賞という、荣誉ある賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。受賞のお知らせをいただいた際、あまりの驚きと喜びに、大声が出てしまいました。今回の賞は私一人の力ではなく、幼い頃から絵を描くことが好きな自分をのびのびと育ててくれた家族、そして無名な私にアニメの仕事を任せてくださったご依頼者様方のお陰だと思っております。本当に心から感謝申し上げます。今回の作品では、お弁当を通して繋がる親子の絆を描かせていただきました。お弁当は小さな箱の中に、たくさんの愛情が詰められたものです。そしてそれに気づき、感謝して受け取ることで、愛情に応えることだと思っております。この作品を見て、日常的な光景の中に散りばめられたいくつもの想いに、改めて目を向けて頂けると嬉しいです。アニメーターとしてまだまだ未熟者ではございますが、今回の受賞は温かな激励とこれからへの期待が込められたものだと思います、今一度気を引き締めて邁進いたします。この度は大賞を授与して頂き、誠にありがとうございました。

講評

1分20秒という短い動画のなかで心温まるストーリーが伝わってくる。お弁当を息子に渡すシーンをあえて省き、お弁当の卵焼きを作るカットから学校のお昼時間のカットへ繋いだり、学校で試験があるという事実を携帯のメッセージ画面で簡潔に鑑賞者へ伝えるなど、控えめでありつつも情報が的確に伝わってくる点に作者のこだわりを感じて評価した。作品を向上させるためには、作画面では卵焼きを作るシーンの手の動きを見直す必要があるだろう。画面の外にある身体がどうなっているのかを想像しにくくなっている。構成面では、映像で十分真意が伝わってくるため最後の言葉による説明は蛇足である。また、思春期の息子と母親の関係性として、このコミュニケーションも悪くは無いが、実体験を材料にするなど構成にもう少しオリジナリティを加えることでより印象に残る作品に仕上げてほしい。アニメーションだけでなく、小説、新聞、映画、絵画など幅広い知見を増やし制作を続けてほしい。

(審査員：岩崎宏俊)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

〔アニメーション部門〕

「Our World」 note

手描き、デジタル処理(2分40秒)

今までにも色々なコンテストに参加しましたが、なかなか日の目を見ることができずにいました。諦めずにやってきた結果が今回の受賞につながったことに大変うれしく思います。ありがとうございます。作品“Our World”では度々話題になる社会問題などがアイロニックに表現されています。それぞれには4つのテーマを持たせていますが作中でも、ここでも詳しい解説はあえていたしません。私の中に正解はありますが、見る人によって正解が異なってもいい、それがこの作品の狙いだからです。外部からの余計な情報を入れず、皆さんがありのままのクリアな状態でこの作品を見てくださったとき、何を感じたでしょう。改めまして、この度は優秀賞をいただき誠にありがとうございます。

講評

作者が作品の方向性を明確にコントロールし、独自の世界観を構築しようとしている点は評価したいが、同じ動作の繰り返しが多すぎる点が惜しい。カット数(世界観を表すイメージ)の少なさを補完するために最後に挿入される長文も、できればアニメーションで表現してほしい。もしも文章を用いたのであれば、どのタイミングでどのくらいの文字量を鑑賞者に読ませるのかなど、観る側のことを意識し、どのような映像体験にしたいのかを考えたブラッシュアップを期待する。

(審査員：岩崎宏俊)



第10回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

【アニメーション部門】

「わたしのうつの症状」 Sakine Miura

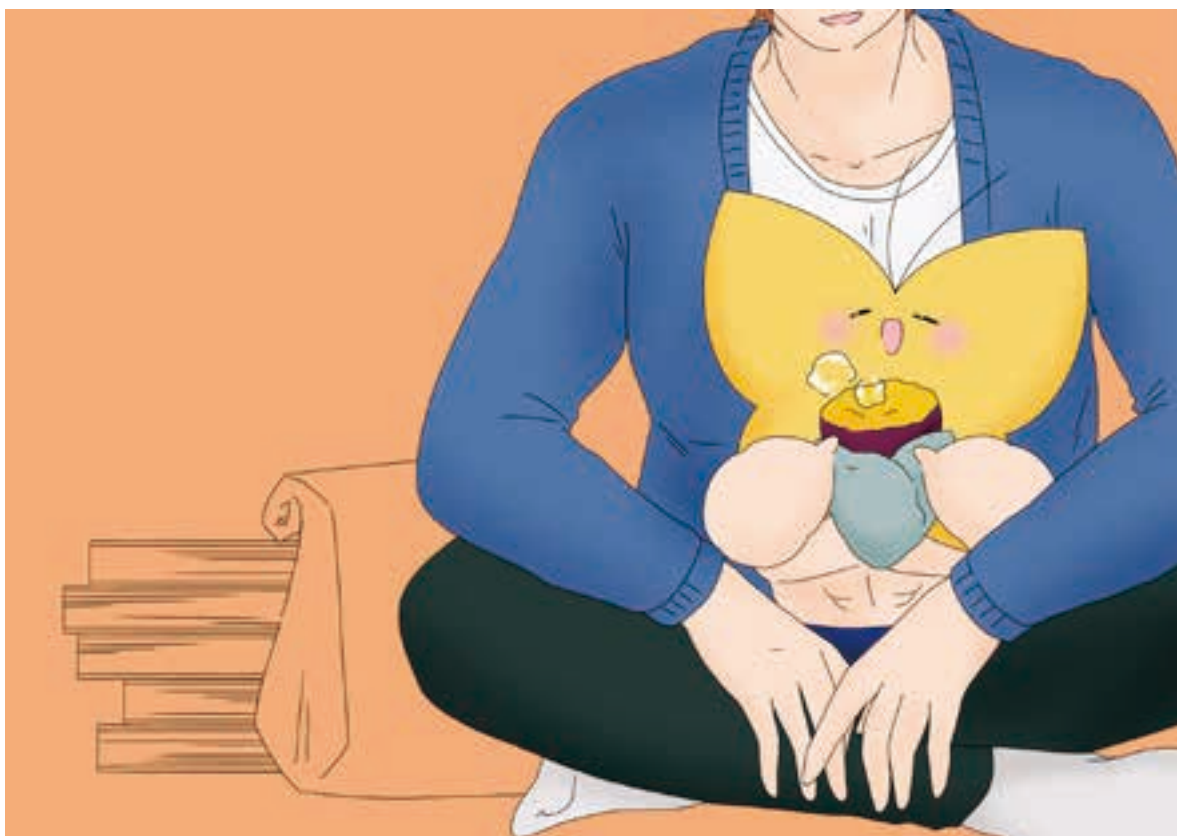
ピクシレーション、写真(1分20秒)

作品の題材は「うつ病を対象にして自分と向き合う」です。私はいつも、自分と社会の接点を探し、そこから作品制作をしていました。しかしこの時期は外に目を向ける余裕がなく、思考がどんどん消えていく状態にありました。日常生活に支障をきたし始め、目を背けられなくなったと感じたため今回作品制作をしました。全体を暗いまま終わらせるのではなく、最後のカットで過去の自分に「遠回りも悪くないよ」と伝えることで、未来への希望を持たせました。

講評

タイトル通り、うつの症状を表現した作品。言葉、実写、イラスト、アニメ、様々な表現を使い、混沌としていて不明瞭ながら、息苦しくなるような心の痛みを映像化している。その、作らざるを得なかった、という強い気持ちが感じられ、好感が持てた。しかし、各項目(症状)がワンアイデア、ワンイメージで終わっているのが物足りなく感じたので、もう一工夫、自分にしか作れない映像を目指して頑張って欲しかった。

(審査員：大山慶)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

【アニメーション部門】

「マッチョウチョ ～プロテインから生まれたマッチョな妖精～」

マッチョウチョ制作グループ

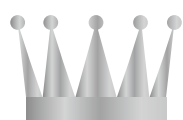
手描き、デジタル処理(1分58秒)

アニメーションの授業で早川さんのマッチョウチョのイラストを見て、すごく魅力的なキャラクターだなと思い、マッチョウチョを動かしたいなと思いました。マッチョウチョ原作者の早川さんと、デジタル処理に長けている石川さんに声をかけたのがマッチョウチョのアニメーション制作の始まりのきっかけです。2人がいなければ乗り越えることができないこともあったので、3人でお互いに助け合って私たちは素敵な作品を仕上げることができました。アニメーションでこのような賞を頂いたことは初めてなので、とても嬉しく思います。

講評

プロテインから生まれた、筋肉質な体を持ったチョウチョのキャラクターと、男の子との出会いと友情を描いた作品。マッチョな蝶、というキャラクターにオリジナリティがあり、表情豊かで可愛らしく、魅力的で、その点では成功している。キャラクターが現れ男の子と仲良くなる、で物語が終わってしまっているの、起承転結の転にあたるような展開があると、更に良い作品になると感じた。

(審査員：大山慶)



第 10 回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ ワコム大賞／大賞

[イラスト高校生部門]

「咲いてしまう」 ♪ myu ♪

アルコールマーカー、色鉛筆、顔彩

様々な想いが花になって、意思に反して「咲いてしまう」女の子を描きました。花言葉を軸にしたイラストです。

講評

これぞ原画を見る楽しみが詰まった 1 枚！コラージュ技法を駆使し、見れば見るほど、作者が作っている最中の手仕事を追いかけるような追体験ができました。しっかりした厚い紙、水彩で淡く色付けされた可憐な花々、きっちりとカットされた部品たち、繊細で丁寧に入り組んで貼られた画面の階層。デジタルでは決してできない手仕事の遊びに満ちており、息を呑んでまじまじと観察させる圧倒的な魅力と強さがこの作品にはあります。

(審査員：國分郁子)



第 10 回

GUNMA マンガ・アニメフェスタ 特別審査員賞／大賞

[イラスト一般部門]

「ただいまの灯り」 周憂

デジタル

この度は、大賞をいただきまして本当にありがとうございます。大変光栄です。今回の作品「ただいまの灯り」は2022年4月に描いた作品です。学生時代の帰宅時に家の玄関をあけると目に入ってくるリビングの懐かしい灯りを思い出して絵として表現してみました。懐かしさをより感じさせるため、日本家屋の家で描き、祖母の家なども参考にしました。

講評

一ノスタルジーの中の今(未来)ー

ダークな色彩の中で「灯り」が照らし出す情景が印象的なこのイラストには、二つの景色が映し出されているように思います。ひとつは、レトロな中に垣間見える日常の姿で、それはどこか温かく優しく懐かしく、見る人の心に郷愁をもたらします。もう一つは見ている私たちの心象風景。今を生きる私たちはレトロともモダンともつかないこのイラストによって一瞬で古に引き戻されて、気づかずに過ごしてきた大切なかけがえのないものに触れ、心を揺り動かされることになるでしょう。「灯り」の温もりが心に染みてとても心地よくなる作品でした。

(審査員：田中敦子)

大賞おめでとうございます。屋内から漏れ出た電球色の照明で懐かしい、安心できる場所の雰囲気非常によく演出しています。窓の奥の調理器具、電気メーターや室外機だけでなく、壁板の水汚れまで細かく表現されています。個人的には滅多に見かけなくなった玄関のガラスが特に印象的でした。

(審査員：有田満弘)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト一般部門]

「悪鬼羅刹」 ぶるーと デジタル

題名の悪鬼羅刹という言葉は、人に害を与える恐ろしい化け物、悪鬼＝災難を与える化け物、羅刹＝人を食べる化け物となっています。そんな有害で恐ろしい者たちと、そんな存在たちの手によって犠牲となった者たちを描きました。中心にいる少女は自分の容姿を利用し、騙して呼び寄せた人間を食べ続けている人の形をした鬼、両端の虎は、鬼に貢ぐ為に人を狩る獣です。背景にある彼岸花は、作品内の世界が此岸ではなく彼岸であることを表現しています。桜は中心にいる鬼の好物です。好物である理由は綺麗だからです。受賞されるとは思っていませんでしたので、優秀賞をいただけてとても嬉しかったです。今後も精進していこうと思います。ありがとうございました。

講評

明暗をうまく使った視線誘導が見事です。パッと目につくのは虎。次に少女。全体に目を移すと美しい桜や彼岸花が目に入り、視線を下ろしていくと、卒塔婆や髑髏など不吉なモチーフが潜んでいる。といったように、視線誘導だけでなく、見る人が全体を把握する時間軸まで作り込んだ見事な構成力が素晴らしいです。

(審査員：有田満弘)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト一般部門]

「桜の巫女」 徳井伶夏 デジタル

この度は素晴らしい賞をありがとうございました。過去に小学生部門で優秀賞を頂いた事が、イラストレーターを目指すきっかけになりました。いつか一般部門で入賞したいと思っていたので、念願が叶い、とても嬉しいです。

講評

ひと目見た瞬間、春の息吹に圧倒されました。鮮やかな色使いと迫力のある構図で、暖かい風がこちらまで届きそうです。女の子のデザインもとても可愛らしく、描き込みすぎない背景がキャラクターを引き立てていてゲームのスクリーンのような完成度だと思いました。この子は春の到来を喜んでいるのか、はたまた春を連れてくる力を持っているのか…想像力が掻き立てられる一枚でした。

(審査員：おはぎ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト一般部門]

「だるまの街の迷い子」 メルガム デジタル

とても嬉しいです！ありがとうございます!! やったー!!

講評

映画の中の一場面を切り取ったかのようなドラマチックなイラスト。細かな描写の中に「だるま」が散在していて、この街がだるまによって支配、管理されている緊迫感がある。一般市民はだるまのお面を被っているが手前の少年は素顔である。世の中の洗脳からはみ出し迷い子となった彼が、現代のコロナ禍の日本の現状とダブってしまうのはボクだけだろうか。高崎のだるまを使って深いテーマを扱っている。

(審査員：いまいずみひろみ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト一般部門]

「このきもち」 しいおん

色鉛筆、アルコールマーカー、クレヨン

奨励賞ありがとうございます。どんな絵を描こうか色々考えている時の迷いとワクワク感を表現しました。まごころこめて描いた作品なのでとても光栄です。

講評

美しい配色と、水の中でダンスをしているようなうねうねと繰り返される人のかたち。線と色のリズムによって、画面を眺めていると頭の中でこの不思議な人たちと一緒にヘンテコダンスを踊りはじめてしまう…！中央の大きい2人の人物は、紙の地色を線で残した塗り、対して、周りのたくさんの人は、線で描くという対照的な描き方をしており、狙いがとても効いています。見る人をとてもハッピーにさせる作品です。

(審査員：國分郁子)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト高校生部門]

「逆」 吉永大輝
シャープペンシル

人体のパーツをモデルにしました。手足はそれぞれに意味を込めて描きました。「逆」というのは作品の上下の向きを変えることで生まれました。本来の絵はどうなんだろうと想像して、考えて、より作品が楽しめると思ったからです。

講評

古代の壁画に描かれているような物体は宇宙人のようでもあり未来のロボットのようにもある。時空を超えた感覚を細いラインだけで表現していて、作者の繊細な視点によって驚くほど生き生きとしている。いつまでも変化し続けるメタモルフォーゼ。物体には目のようなものがありくちばし、脳、耳、血管のようでもある。しかし視点を変えれば配管が見えてくる、蛇口、配線、建物にも見える。一度ハマってしまうとなかなか出てこれない万華鏡だ。

(審査員：いまいずみひろみ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト高校生部門]

「Blueberry moon」 Rin デジタル

この度は輝かしい優秀賞をいただき、大変嬉しく思います。男の子の向かい側には誰がいるのか、食べ終わったお皿には元々何があったのか、男の子の表情など、見る人によって見え方が変わる、そんな作品に仕上げたいという思いで描きました。題名と織り交ぜてご鑑賞いただければと思います。

講評

くすんだブルーを基調とした今風でおしゃれな色使いが目を引きました。丁寧に描き込まれた小物やリボン、カーテンなど、空間を埋めるバランスがとても美しく見飽きません。また、美しいだけでなく様々な意図が込められたイラストに感じます。対症的な男の子と猫の表情、パンケーキの上のお花や空のお皿など…どんな意味があるのか気になって心に残る一枚でした。

(審査員：おはぎ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト高校生部門]

「花と抱く」 棕葉 デジタル

講評

シンプルな色使いですが、目、鼻、指先、唇など皮膚の薄い部分への赤みの差し方で、キャラクターの温かみ、可愛さがうまく引き出されています。手の描き方にもこだわりを感じました。瞳の表現が星空のようで綺麗ですね。背景や服もよくデザインされていると思います。

(審査員：有田満弘)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト高校生部門]

「揺蕩う」 つな デジタル

この度は、奨励賞を頂き誠にありがとうございます。この作品は厚塗り技法を使い構図や水の表現にこだわりました。これからも一層精進して参りたいと思います。本当にありがとうございました。

講評

背景の白を逆光として大胆に残し、ブルーグレーとオレンジという制限した色使いで、ずっと気持ち良い空間作りに成功しており好感が持てます。一番目がいく女の子の顔の頬や瞳、指は、丁寧な淡いグラデーションで仕上げられており、対して、画面の外へ行くほど、背景の白とコントラストが強い濃紺な線が漂っている、とても計算された視点の誘導が詰まっている魅力的な作品です。

(審査員：國分郁子)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

[イラスト中学生部門]

「見ない顔ね」 コンにゃくイモぽりポリマン デジタル

この度は大賞をいただきありがとうございます。森を手中に収めているかわいい女を描きました。色づくりやキャラクター性を意識し、こだわりを持って制作しました。

講評

しんとした空気の中のあたたかな日差しが、まるで映画のワンシーンを切り取ったようです。ティーカップを持った女の子の顔だけこちらを向いている姿勢は、タイトルを見ずとも「出会い」を感じさせてくれて見事だなと思いました。どのような世界観でこの女の子は何者なのか…イラストの先にも物語が見えるようです。細かな装飾や植物のディテールなど、見れば見るほど引き込まれる一枚でした。

(審査員：おはぎ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト中学生部門]

「夢描いて」 YR デジタル

一生懸命描いたので、受賞できてうれしいです。

講評

ポップな絵柄にビビッドな色使いがマッチしていて印象に残りました。塗りの一部に取り込まれているドットのパターンがいいアクセントになっています。カメラ越しにこちらを見る女の子の不敵な笑みが、この子にはたくさんの可能性があるんだろうと思わせてくれてワクワクしました。もっと他の表情も見てみたくなる魅力的な人物イラストです。

(審査員：おはぎ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

〔イラスト中学生部門〕

「ケモノちゃんのパーティー」 藤掛フジコ

アルコールマーカー

今回、優秀賞をいただき、とてもうれしく思います。この作品は、ケモノとかわいいを意識して描きました！中央にいる女の子は、「まだ5才くらいの純粋な子」という設定で、そこに「ケモノ」らしい角やフサフサ感を表現してみました。周りにいるケモノ達は、女の子を守るような…怖さと温かさを同時に表現しました。

講評

パッと華やかでワクワクさせてくれるカラフルな色と力強い線のリズム！よく見ると、女の子の大きな目やまつ毛など顔のパーツが、他のケモノちゃんと同じような独立したふしぎな形に見えてきます。紙の白を活かし、絵の地と図を混乱させるテクニックは、発見するワクワクが詰まっています。この雰囲気でもっと大きい作品も見たいです。

（審査員：國分郁子）



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト中学生部門]

「ドリームワールド」 堀江悠子

アクリルガッシュ、色鉛筆、シール、水彩色鉛筆、グリッターのり

今回テーマを「ファンタジー」として描かせていただきました。空を飛ぶクジラをメインに、その他の動物をそれぞれ自由に表現しました。また遠くからでも目がひけるよう、道具をたくさん使いました。少しでも見てくれた方が心がおちつき、ほんわかした気持ちになってほしいと思いました。夢のようなものにするために、現実ではありえないこんぺいとうの木など、自分の個性を存分に入れました。

講評

原画で見たかった！と思わせる作品でした。アナログで描いた作品をプリントアウトして応募されたそうで、手描きかデジタルか判断に迷うほど繊細に仕上げられています。動物たちだけでなく植物や夜空まで、統一した世界観でファンタジックに表現されていて、まさにドリームワールドを感じさせる作品です。

(審査員：有田満弘)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト中学生部門]

「くらやみにひそむねこ」 ぽんた

アクリル絵の具

賞がもらえてとても嬉しいです。

講評

ボクも猫を飼っているが、深夜目を覚ますと、音もない静寂の中で目を光らせてじっとこちらを窺う猫と目が合ってしまう…。一体何を考えてこちらを見ているんだろう。このイラストはそんな猫の不思議な性格をよく表現している。黒い背景の中に猫の息遣いが伝わる。白い蜘蛛の巣はこのイラストの雰囲気さをさらに強めている。不気味さはない。そして猫はその蜘蛛の巣の前にいる…。猫が見ているものとの間には何もない。手を伸ばせばそこにいる。

(審査員：いまいずみひろみ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ大賞

〔イラスト小学生部門〕

「猫町二丁目商店街」 星ねこ。

アルコールマーカー、ゲルインクボールペン

イラストも、上手く描くことができたので受賞できてとても嬉しかったです。描いた作品は、猫をイメージとした商店街を描きました。レトロな雰囲気が好きなので建物もレトロっぽく描くことができました。作品の設定は猫の街に一人だけ住んでる人間の女の子と猫達の不思議な日常です。

講評

高崎招き猫をテーマにしているのだ。群馬県の伝統工芸品を小学生の作者がイメージーションで夢の猫町二丁目商店街を作ってしまった！この猫の商店街に訪れたのはたった1人の少女…。背中にはランドセル、手にはアサガオの鉢が持たれている。この少女は作者だろう。高崎市の「日中友好のアサガオ」を持たすことにより猫町の住人と少女の友好を演出している。地元を愛し、平和を望む気持ちが伝わる。

(審査員：いまいずみひろみ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

[イラスト小学生部門]

「夜明けのドラゴン」 しいちゃん

絵の具、折り紙

手紙がとどいてびっくりしたし、うれしかったです！ドラゴンとかきょうりゅうが好きなので、やさしそうで、ねむそうなドラゴンをかいてみました。色もいろいろ考えてみました。夜じゃなくて、あけがたにとびたつところです。

講評

雄大な夜空に、紙面いっぱいの大きなドラゴンが大迫力で素敵です。様々な色を使いスタンプで描かれたうろこや、金色の折り紙で表現された輝く星など創意工夫が光っていますね。ドラゴンが何を思い夜明けに向かっていているのか、考えるのが楽しくなる一枚でした。これからも自由な発想で自分の世界を表現して行ってほしいです。

(審査員：おはぎ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ優秀賞

〔イラスト小学生部門〕

「夢の中の水族館」 高山ヴィクトリア 絵の具

想像で思いついた水族館を描きました。サンゴなど、できるだけ、こまかくかき、メインの、たこは、1 番大きく描き、見やすくするために、かげなどもつけました。

講評

ふわーっと澄んだ色で塗られた色とりどりのサンゴや、イソギンチャク。それに対して、画面左では、タコが肉食系の魚を捕まえていて、なにやら空恐ろしい暗い海が広がっています。タコの吸盤も細かくみっちり描かれており、サンゴたちのような夢見心地にさせる色のゆらぎとは真逆の、重くにごった色づかいが、怖さをさらに強めます。明るい世界と暗い世界がぶつかり合って、まぼろしのような光景が詰まった作品です。

(審査員：國分郁子)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト小学生部門]

「大きなりゅう」 ああちゃん

クレヨン、絵の具

自分で考えて、かいてみてよかったと思いました!! 大きなりゅうが大きな月の所まで登ってお月様の前でお星様の玉をうれしそうに、じまんして持っている所です。

講評

明るい月の前にドロドロと空に登るりゅうが現れた! りゅうの身体の緑は自然の草木の色だ。きっと群馬県を囲む山々からパワーをもらった自然神だろう。画面いっぱいに描かれた背景の月が、りゅうの存在感をさらに高めている。りゅうは正義や悪を超えた神のような存在であり、作者の純粋な心がそれを見事に描いている。

(審査員: いまいずみひろみ)



第 10 回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ奨励賞

[イラスト小学生部門]

「迫力満点 ホワイトタイガー」 中澤幸聖

鉛筆

ぼくは、絵をかくのが大好きなのでこのようなイベントに参加してみました。初参加で受賞したのですごくうれしかったです。迫力をすごくしようと思ったのでおくゆきを意識してかきました。賞をいただきありがとうございます。

講評

私も鉛筆画が好きで、今でも鉛筆を使って動物を描くことが多く、共感しました。ホワイトタイガーのたっぷりとした毛並み、力強い前足、複雑に交差したヒゲ、足裏の肉球まで丁寧に仕上げられています。濃淡のムラがやや強いので鉛筆の濃度の使い分けを試してはどうかと思いました。

(審査員：有田満弘)